

# 市長と語ろう！ タウンミーティング

市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う「市長と語ろう！タウンミーティング」が2月8日に北秋田市交流センターで行われ、北秋田市に生まれ育った高校生9人が、トークディスカッションを通して市長と意見を交わしました。

でトークディスカッションを行いました。  
※以下、トークディスカッションの内容を抜粋してお伝えします。

**タウンミーティング  
テーマ**  
あなたが思うこのまちのセー  
ルスポイントは、また、それ  
を売り込むためにはどのよう  
にしますか

**高校生**

「雪で遊ぶことや自然が豊か、星がきれい、お米がおいしい、遺跡がある、平和で土地がたくさんある、アート作品や美術品がある。市の良いところを詰め込んだCMを作ればいいと思う」

「食や農産物。自然が豊かでおいしい食べ物がたくさんあり、観光や移住定住においても、食の魅力は大事なポイント。市の農産物や商品を集めたイベントを行えばいいと思う」

「セールスポイントは林業。木材の加工や工作体験、木材家具の販売や木材アート作品の大会などを開けば広まるのではないかな」

「バター餅があると思う。洋菓子の方が人気というデータがあるため、洋菓子として作った方が売れるのではないかな」

「伊勢堂岱遺跡で、パンフレットを作る



秋田北鷹高校 庄司志歩さん  
能代高校 鈴木隆誠さん  
秋田北鷹高校 中嶋杏莉さん  
秋田北鷹高校 佐藤ゆめ実さん  
大館鳳鳴高校 佐々木彩佳さん



秋田北鷹高校 小畑優悟さん  
秋田北鷹高校 金夏海さん  
大館鳳鳴高校 津谷智子さん  
能代高校 長岐光瑠さん

「市長と語ろう！タウンミーティング」は、市民に市政をより身近に感じてもらうように、市民と市長が直接対話することを重視した意見交換会です。今回は「高校生と語る北秋田市について」をテーマに、地元出身の高校生9人と北秋田市について考えていることや感じていることを話し合いました。

開会にあたり津谷市長は「このタウンミーティングは、昨年度からテーマを決めてトーク方式で行っている。昨年度出された『SNSを使った市の広報が必要ではないか』という提言をいただきそれを実現した。市で生まれ育った高校生の皆さんがどう思っているのか、大人の目線で気づかないところを、皆さんの視点で教えていただき、いろんな意見をもらえればと思っている」などあいさつしました。

このあと、県北の若手農家グループ「トラ男」のプロデューサーを務める武田昌大さんをコーディネーターとして「あなたが思うこのまちのセールスポイントは、また、それを売り込むためにはどのようにしますか」「もしもこの町のために1億円を自由に使えるとしたら何に使いましか」「このまちの未来はどのようになれば良いと思いますか」の3つのテーマ

使えるようにしたい」

「イベントの開催や観光都市整備、集客力のある施設を作ることに使えばと思う。観光地を新しく作るより、今あるところを良くしたい」

「誰もがあんべいいなと心から思える宿泊施設を作って、そこを利用したツアーができればと思う。ターゲットは年配の人や仕事が終わってゆっくりしている人向けのツアーをやれば良いと思う」

武田 「もっと突飛なアイデアが出てくると思っていたが、真剣にまちのことを考えてくれて、かなり具体的なアイデアが出ていたと思う」

市長 「1億円というお金に対して、地に足のついた考え方をしてくれている。皆さんからのアイデアを我々が拾えるもの、考えられるものを生かしていきたい」

**タウンミーティング  
テーマ**  
このまちの未来はどのように  
なれば良いと思いますか

**高校生**

「今ある文化やモノ、特色を引き継いでいきながら、便利なお店も充実させていって、進化していくまちであれば良い」

「雇用が増えて、若い人たちがより多くの選択肢を持てるようになればいい。そこを改善することで、このまちに残ってくれる人が多くなると思う」

「地域の方々の支援があつてまちが成り立つと思うので、地域の方々に愛されるまちになる」といふ

「多くの若者が都市部に移住し、便利でキラキラした生活を夢見ている人が多いが、市がみんなの心の拠り所になるべき」

市ホームページ  
市長と語ろう！  
タウンミーティング  
へのリンク



[http://www.city.kitaakita.aiki.jp/shigoto/soumu\\_sougou/seisaku/seisaku/2019-0129-1609-12.html](http://www.city.kitaakita.aiki.jp/shigoto/soumu_sougou/seisaku/seisaku/2019-0129-1609-12.html)

話題は尽きず、多岐にわたりましたが紙面の都合上全部は紹介できませんでしたが、市のホームページで報告書を公開中です。関心のある方はご覧ください。



津谷永光  
北秋田市長  
コーディネーター  
武田昌大さん

高校生が活発にそれぞれの考えや意見を出し合いました

ときには英語表記等グローバルな感じで活動してほしい。自然が豊かなので、四季折々のツアーを開催してほしい」

「阿仁のマタギをPRしていけばいい。マタギ体験をしたい人がいるので、市のホームページや空港にポスターを貼ったりSNS等で広めればいいと思う」

市長 「市のことをよく勉強してくれているし、日頃からしっかり問題意識をもって暮らしていると思った。市にはたくさん魅力がある反面、まだまだ手をかけなければいけないことがあると、皆さんから気づかせてもらった」

武田 「セールスポイントを売り込むときに、どんな人に来てほしいか考えることでより具体的なアクションが変わってくる。そういったところを意識すれば、市の魅力がもっと出て伝わると思う」

**タウンミーティング  
テーマ**  
もしもこの町のために1億円  
を自由に使えるとしたら何に  
使いますか

**高校生**

「美術館を作る。市にはチェーンソーアートや田んぼアート、ほかにたくさん美術品や歴史もあるので、そういうものを展示する場所があれば、たくさんの人に見てもらえる」

「道路の整備。側道の幅が少し狭いと思うのでもう少し幅を広げればいい。冬道は滑るので、歩道だけでもロードヒーティングをつければ安心だと思う」

「企業誘致をして働く場所を提供すれば、地域の若者不足を改善できると思う」

「駅の老朽化しているところや看板が落ちているところを整備してもっと快適に